

# 実践英語A

選 択 開講年次：デザイン学部 2 年次前期・後期 科目区分：演 習 単 位：1 単位 講義時間：30 時間  
看護学部 2 年次前期

■**科目のねらい**：英語I、英語II（各A、B、C）で学んだことを基礎に、デザイン・看護の各専門に関する英語図書の講読を通じて専門英語に慣れるとともに、専門分野に関する語彙を習得することを目指す。看護学部においては、患者から様々な情報を取得する会話力を習得することも目標とする。

■**到達目標**：①専門分野に関する語彙を習得する。  
②英文で書かれた専門分野に関する論文を読むための力を身につける。  
③患者に関する情報を英語で取得する力を身につける。（看護学部）

■**担当教員**：

松井 美穂・町田 佳世子

■**授業計画・内容（上段がデザイン学部、下段が看護学部）**：

第 1 回	Orientation, Introduction Orientation, Introduction	第 9 回	Lesson 9 Pop Culture Unit 4 Taking Vital Signs
第 2 回	Lesson 1 Tradition Vs. Modernity Unit 1 Meeting Patients	第10回	Lesson 9 Pop Culture Unit 4 Taking Vital Signs
第 3 回	Lesson 1 Tradition Vs. Modernity Unit 1 Meeting Patients	第11回	Lesson 10 The City Unit 5 Taking a Specimen
第 4 回	Lesson 4 Feminism Unit 2 Taking Medical History	第12回	Lesson 10 The City Unit 5 Taking a Specimen
第 5 回	Lesson 4 Feminism Unit 2 Taking Medical History	第13回	Lesson 13 Post-humanism Unit 6 Conducting Medical Examinations
第 6 回	Lesson 6 Indigenous Culture in Australia Unit 3 Assessing Patients' Symptoms	第14回	Lesson 13 Post-humanism Unit 6 Conducting Medical Examinations
第 7 回	Lesson 6 Indigenous Culture in Australia Unit 3 Assessing Patients' Symptoms	第15回	Review Unit 7 Assessing Pain
第 8 回	Review Review		

■**教科書**：デザイン学部：Art and Society 南雲堂  
看護学部：Caring for People センゲージ ラーニング

■**参考文献**：授業初回に、担当教員より指示する。

■**成績評価基準と方法**：出席状況、課題提出、試験の結果などから総合的に評価する。

平常点（小テスト、課題、中間テスト等）：40% 定期試験：60%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③ (看護学部)		
定期試験	◎	◎	◎	読解力、語彙力、文法力を見て総合的に判断する。	60
小テスト 課題 中間テスト等	○	○	○	各章の内容を理解し、かつ専門分野に関する語彙力がついているかどうかを見る。	40
出席				2/3以上の出席(出席が2/3に満たない場合、定期試験の受験資格を失い単位を修得することができません)	
その他				遅刻3回で欠席1回とみなす	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：英語に関する全ての科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業には予習をして、辞書持参で出席すること。辞書に関しては英和中辞典以上の内容のものを使用すること（電子辞書も可、ただし携帯電話、およびスマートフォンの辞書機能は不可）。その他に関しては担当教員より指示する。